

VJU

Vietnam Japan University

VNU since 1906

ベトナムの今を知る —ベトナムの魅力と今後の課題—

2021年03月20日

日越大学・日本ベトナム友好協会

古田元夫



I 私のベトナムへの関心

ベトナムへの関心(学生時代)

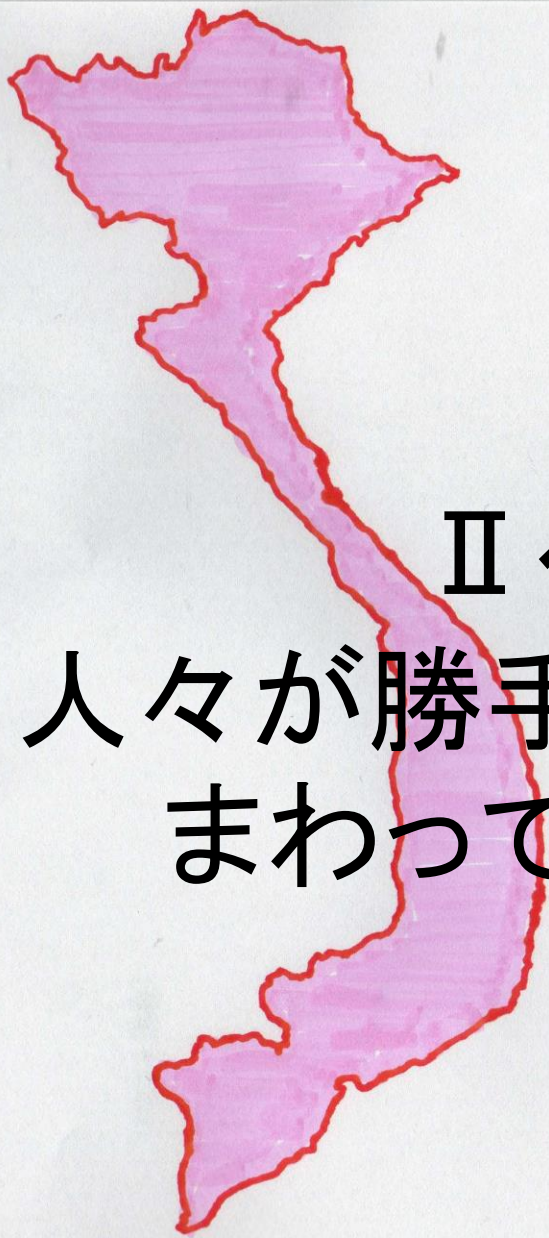
- ベトナム戦争世代のベトナム関心
- 世界史的問題の焦点としてのベトナム
- ベトナム戦争 世界はベトナムを中心にまわっている
- ベトナムを理解できれば世界はわかる?
- ベトナム戦争世代に多い日本のベトナム研究者
- 戦争、民族解放運動、社会主義といった切り口からのベトナム 異質な他者としてのベトナムという視点なし



異質な他者としてのベトナム

- 衝撃だった現地体験(1978, 80)
 - ベトナム政府お雇い外国人(日本語講師)としてハノイ滞在
- 「在留邦人」12人の時代
- ベトナム戦争に勝ったばかりなのに米ドルをありがたがる人々
- 旧来の社会主義モデルの人々の生活からの乖離、政府の統制に服さず勝手な方向を向いて走りまわっている人々の活力
- ベトナムの個性への開眼...地域文化研究としてのベトナム研究のスタート
- ベトナムの土のにおいがするベトナム研究



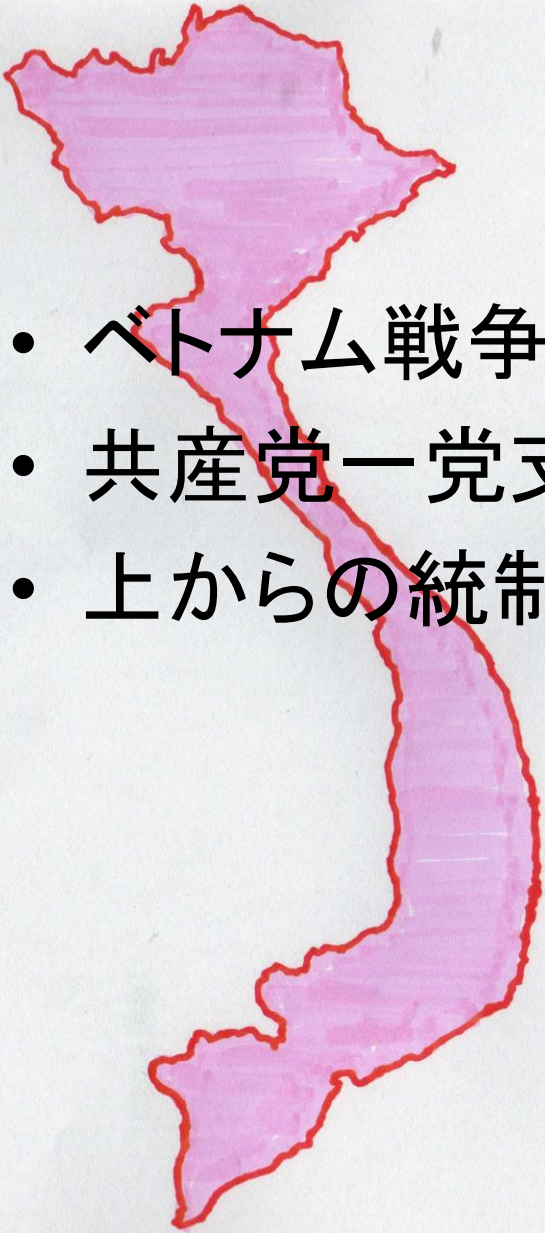


Ⅱ ベトナムの魅力

人々が勝手な方向へ向かって走り
まわっている混沌とした活力

ベトナム像

- ベトナム戦争に勝った国
- 共産党一党支配の国
- 上からの統制がよくとれた国??





ハノイの道路の法則

相手が自分をよけてくれると確信し
自分の行きたい方向へ前進すること





「無秩序」の秩序

- ベトナムの農業が水稲耕作を基盤としていること、そのような農業が生産する米と野菜に加えて水産物が、ベトナム人の食事の基本になっていること、「水」をあらわすベトナム語のヌオック(nước)は同時にクニという意味をもっており、水＝クニという等式が成立していることなど、ベトナム文化における「水」の重要性を示す例は多数ある。自動車やオートバイが、一見無秩序に自分の行きたい方向に突っ込んでくる運転が基本のベトナムの大都市の道路でも、それなりに交通が流れているのも、「水」の流れのようなものと考えられる納得がいくような気もする。拙著『ベトナムの基礎知識』めこん、2017



お上は弱く、民衆は強し



大眾住宅



大眾住宅



集合住宅から「大衆住宅」へ

- 国家が提供した社会主義的集合住宅
- 経済的困難から改修などできず
- 住民が勝手に改修...
- 大衆住宅(1983年の調査1階住民の75%、2階住民の50%が壁を取り壊し)





大衆住宅の論理

- 町長 (phuong 坊長) への申告・・・町長は無視・・・住民は黙認と理解し改修・・・他の住民からの文句がでなければ町長は違法建築として処罰せず
- 町長の個別判断という一元的処理
「手書き」権利書で売買可能
- 再開発計画の際の権利主張不可能

中国の改革・開放 上からの改革 ベトナムのドイモイ 下からのイニシアティブ

- 中国 鄧小平という「強いリーダー」
- 党中央の路線・政策転換が起点
- ベトナム 集団指導制で「強いリーダー」不在
- 「下からのイニシアティブ」による「地方の実験」…その成果が党中央を説得…党の路線の転換



図2 1990年代前半のベトナム共産党トップ3指導

コロナの国際比較

2021年2月8日現在



	感染者数	百万人あたり感染者	死者数	百万人あたり死
全世界	106,715,888	13,691	2,328,065	299
米国	27,611,403	83,122	474,933	1,430
日本	403,435	3,196	6,338	50
インドネシア	1,157,837	4,206	31,556	115
フィリピン	538,995	4,880	11,231	102
マレーシア	242,452	7,434	872	27
ミャンマー	139,743	2,587	3,168	58
シンガポール	59,721	10,160	29	5
タイ	23,557	337	79	1
ベトナム	2,001	20	35	0.4



コロナ抑止の成功

- 共産党一党支配のためとするのは一面的
- 民衆レベルの危機感
- 「北方からの脅威」への歴史的体験
- 「戦争を経験した世代」がいる国
- 共産党・政府の対応
- 中国の公式発表を信用せず 早期から高い警戒
- 機敏な対応と情報公開で、民衆の信頼を獲得

ベトナムのコロナ対策 隔離の徹底

- 感染者(F0)の行動履歴の把握
 - 濃厚接触者 F1 集団隔離
 - 濃厚接触者への接触者(間接接触者1) F2 自宅隔離、PCR検査
 - 間接接触者への接触者 F3 自宅隔離
- 古田もF3は3回体験



地方の「やりすぎ」

- 2021年1月末 ハノイとハイフオンの間にあるハイズオン省で、英国変異ウイルスによる感染拡大
- ハイフオン市 ハイズオンからのトラックの乗り入れを厳しく制限
- ハイズオンの野菜の輸出不可能に
- 首相令で封鎖緩和
- ワクチン接種で個別利害の衝突も



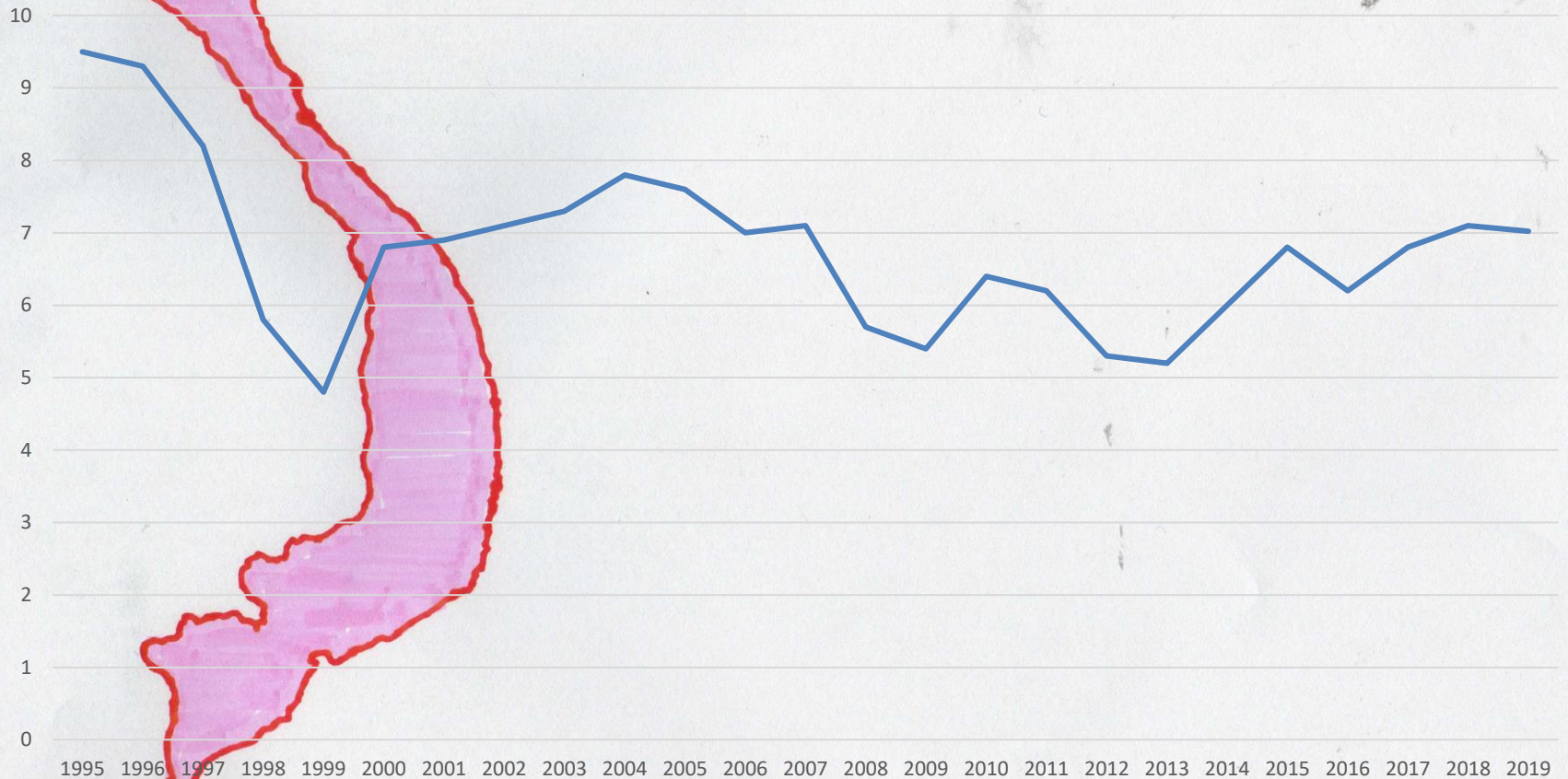


Ⅲ ベトナムの経済発展と外資

ベトナムの経済成長の推移(1995-2019)

最貧国から中進国へ(2010)

成長率%





国民一人あたりのGDP

- ベトナム 1990年 98ドル 2019年 2700ドル
- ASEAN諸国との比較
- シンガポール 64,582 \$
- ブルネイ 31,628 \$
- マレーシア 11,239 \$
- タイ 7,274 \$
- インドネシア 3,894 \$
- フィリピン 3,103 \$



GDPの産業別構成比

- 2019年
- 農林水産業 14%
- 鉱工業 34.5%
- サービス業 41.6%
- 工業化が成熟する以前にサービス業優位に
- リーマンショック以降 中国製造業の進出
- 地場産業のサービス業化を促進
- 輸出品 スマホ・部品20.2%、縫製品 12.5%、コンピューター電子製品・部品 12%



対外経済の重要性と外資

- ベトナムの輸出入とGDP
- 輸出 2642億ドル
- 輸入 2530億ドル
- GDP 2598億ドル
- 輸出入/GDP 199 (シンガポール > 150)
- 輸出の70.5%は外資系

多セクター一経済

国家部門・民間部門・外資部門

各経済セクターがGDPに占める比率

年	国家	民間	外資
1996-2000	39.45	50.15	10.4
2001-2005	38.56	47.12	14.32
2006-2010	35.06	47.85	17.09
2011-2015	32.15	48.17	19.68

高い成長率を示す外資部門

各経済セクターの成長率				
年	国家	民間	外資	GDP
1996-2000	6.05	4.74	24.13	6.95
2001-2005	6.82	6.89	10.23	7.33
2006-2010	3.85	7.04	9.65	6.32
2011-2015	4.6	5	10.41	5.91

外資主導から民間主導の成長へ

各経済セクターの成長への貢献度

年	国家	民間	外資
1996-2000	34.36	34.63	31.01
2001-2005	36.07	44.46	19.46
2006-2010	21.85	52.86	25.29
2011-2015	25.19	41.06	33.76

投資効果は低い外資部門

各経済セクターの投資効率

年	国家	民間	外資	全体
1996-2000	2.58	7.39	1.79	3.51
2001-2005	2	5.37	2.78	3
2006-2010	2.14	4.74	1.8	2.73
2011-2015	3.05	4.66	3.25	3.71



裾野産業の形成の遅れ

- ベトナムにおける原材料・部品の調達先
- 日系企業の現地調達率 32.1%
- 中国 64.1% タイ 55.5%、
- インドネシア 40.5%
- ベトナム以外の調達先の内訳
- 日本35.5%、ASEAN11.9%、中国12.3%
- 現地調達の内訳
- ベトナムの地場産業 41.2%
- 現地日系企業 54.1%<JETRO2015>

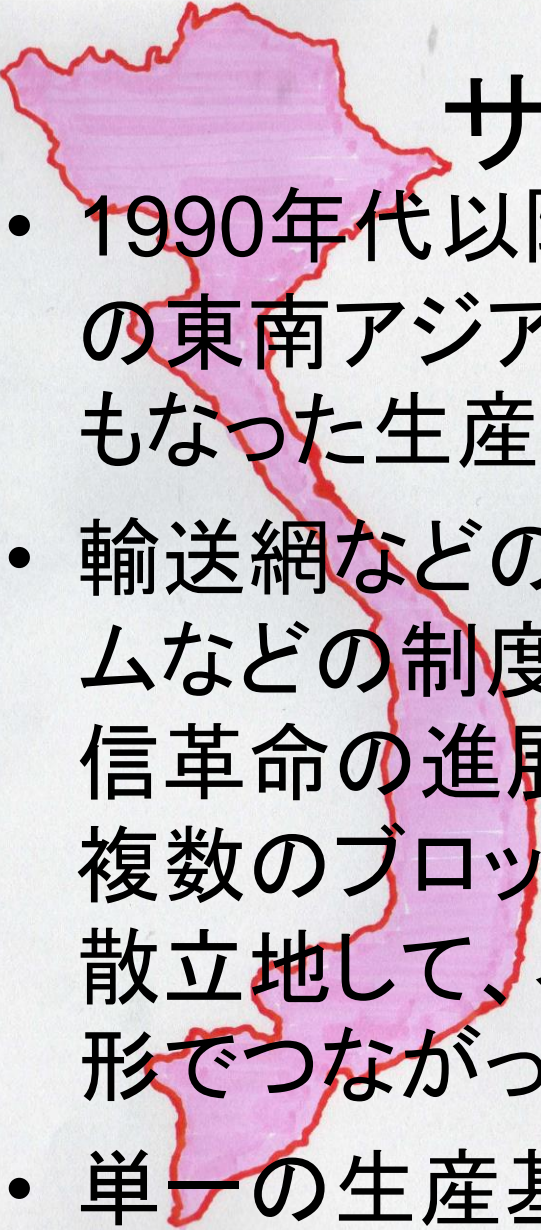


サムスン電子ベトナム

- サムスンのスマホ(最新鋭機)を生産
- ベトナムの輸出に大きく貢献、16万人雇用
- 傘下関連企業も進出、ベトナムでの調達率高い、研究開発も
- ベトナムの輸出の18.5%、中間財提供180社中、ベトナム企業は5社

中進国の罫

- 外資主導の経済成長
- 国民経済から遊離した外資部門
- 経済特区の外資系輸出企業
- 輸出拡大 = 原材料、部品の輸入拡大
- 外資部門の発展の、国民経済への貢献度に
限界



サプライチェーン

- 1990年代以降の日本や韓国などの製造業の東南アジア進出・・・高度な工程間分業をともなった生産ネットワーク
- 輸送網などの物理的なインフラ、通関システムなどの制度的なインフラの改善と情報・通信革命の進展を前提として、生産プロセスを複数のブロックに断片化し、それを適地に分散立地して、ネットワークを通じて最も適切な形でつながっていくような生産形態
- 単一の生産基地 ASEAN


サプライチェーンの強靱化とベトナム

- コロナ 中国に集中しているサプライチェーンの脆弱性を暴露、多様化による強靱化
- 日本企業の調達先の変更
- 中国からベトナムへ 22.4%
- 中国からタイへ 8.2%
- 中国から日本へ 5.9%
- 中国から台湾へ 5.9%
- 中国からインドへ 4.1%



日本企業にとってのベトナムの魅力

- <JETRO調査>
- 市場規模・成長性 86.1
- 親日感情 41.5
- 人件費・労働力 40.9
- 人材の質 19.9
- 納入先の集積 16.7
- 政治・社会安定 16.7



IV. 国連常任理事国すべてと
良好な関係にある数少ない国
日本との関係・急増する
在日ベトナム人



ベトナム外交の軌跡

- 冷戦時代
- ベトナム戦争
- 社会主義陣営の一員 ソ連・中国からの支援
- ベトナム戦争後
- ベトナム統一、外交関係の多角化をめざすも
中越戦争、カンボジア問題などで挫折
- 唯一の支援者 ソ連 国際的孤立
- ドイモイの開始 冷戦体制の崩壊 国際的孤立
の脱却(1990年代)



カンボジア和平後の 急速な国際関係の改善

- 1991年10月 カンボジア和平協定成立
- 1991年11月 中国と関係正常化
- 1991年12月 ソ連解体
- 1992年11月 日本経済援助再開
- 1992年12月 韓国と国交樹立
- 1993年5月 カンボジア総選挙
- 1993年7月 ASEANオブザーバー参加
- 1995年7月 ASEAN正式加盟、米国と国交正常化

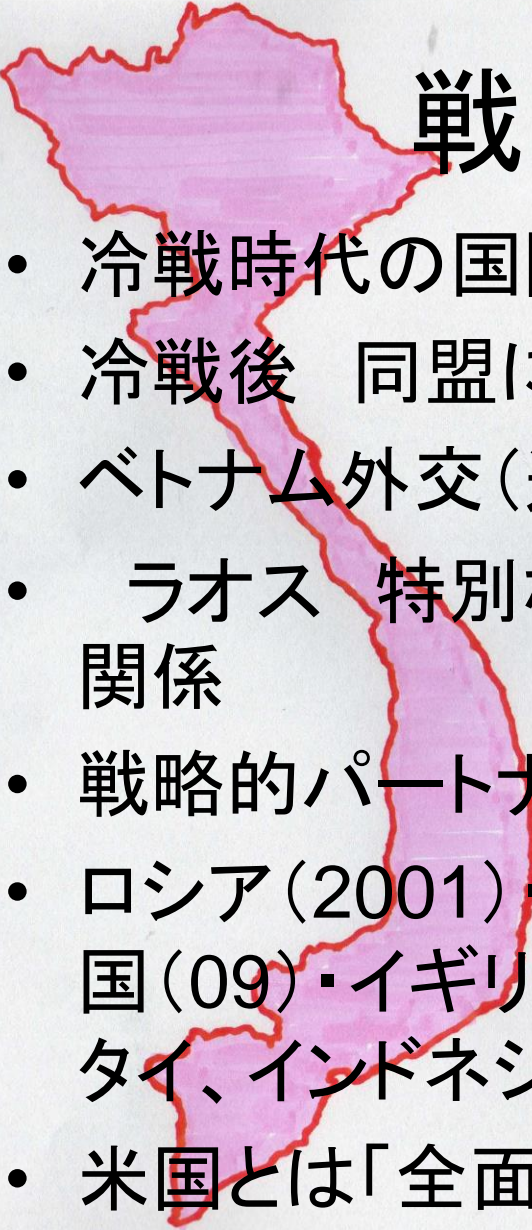
過去を閉ざし未来を志向する

- 20世紀にベトナムに軍隊を入れた国
- フランス
- 日本
- 英国、中華民国
- 米国、韓国、フィリピン、タイ、オーストラリア、ニュージーランド
- 中華人民共和国、カンボジア
- これらの国々との関係改善なくして経済発展不可能
- 1990年代前半に関係正常化
- 「歴史の知恵」で国民的支持

歴史の知恵

- ベトナムに大規模は出兵を行った中国の統一国家(10世紀以降)
- 宋、元、明、清、
- 中華民国
- 中華人民共和国





戦略的パートナー

- 冷戦時代の国際関係 同盟・敵対・非同盟
- 冷戦後 同盟には至らない友好協力関係
- ベトナム外交(選択的)
- ラオス 特別な関係、カンボジア 全面的友好協力関係
- 戦略的パートナーシップ
- ロシア(2001)・日本(06)・インド(07)・中国(08)・韓国(09)・イギリス(10)・ドイツ(11)・イタリア(2013)、タイ、インドネシア、シンガポール、フランス(13)・・・
- 米国とは「全面的パートナーシップ」(13)

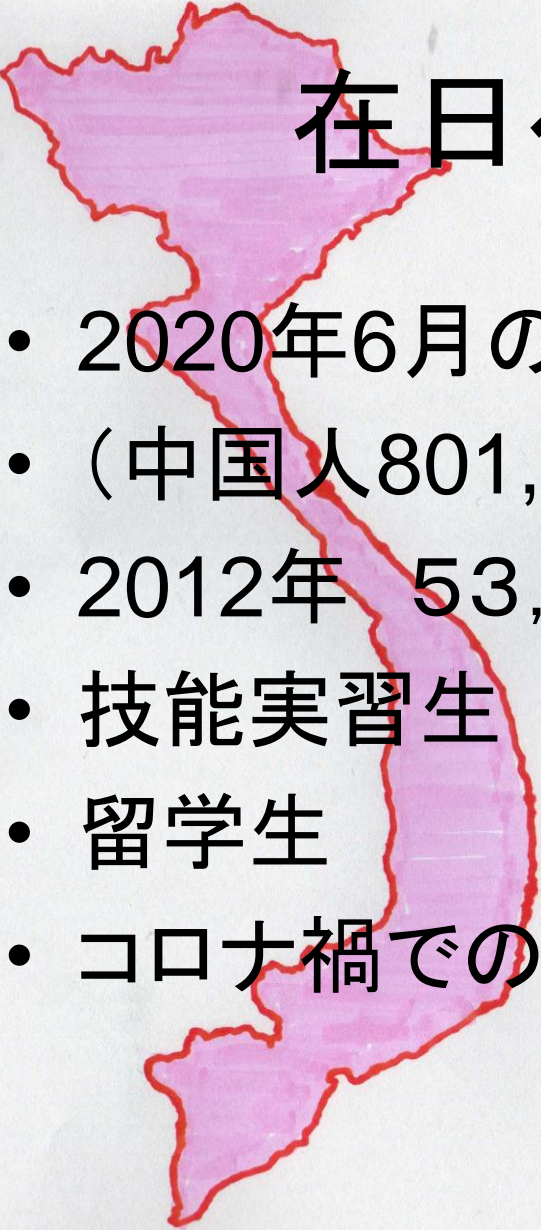
日本とベトナムの戦略的パートナーシップ

- 2002年 長期安定・相互信頼関係
- 2006年 「アジアの平和と繁栄のための戦略的パートナーシップ」を目指すことで合意
- 2009年 戦略的パートナーシップ確認
- 2014年 広範な戦略的パートナーシップ
- ベトナム外交にとっての日本
- 経済関係が基軸 政治的問題がない日本とは政治的にもきわめて良好な関係
- 日本の経済力を活用すると同時に日本に経済的機会を提供、日本の政治的地位向上にも協力
- ベトナムの独立、自主、全方位外交の中の日越関係、他国との関係の障害にならない



超親日？国家ベトナム

- 2002年日本外務省の対日世論調査
- 日本を「信頼できる」「どちらかといえば信頼できる」 72%
- 日本とベトナムは友好関係にある 93%
- 2014年以降
- 中国の東シナ海、南シナ海進出の活発化
- ベトナム人の日本留学、研修生としての渡航の急増
- アジアにおける平和と繁栄のための広範な戦略的パートナーシップ



在日ベトナム人の急増

- 2020年6月の在日ベトナム人 427,367人
- (中国人801,357人、韓国人436,791人)
- 2012年 53,542人
- 技能実習生 219,421人
- 留学生 65,818人
- コロナ禍での生活苦、犯罪などに注目



なぜ日本が多いのか？

- 出稼ぎ労働者(2020年3月)
- 日本23万人、台湾22万5千人、韓国4万8千人
- 経済的理由
- 月5万円の仕送りが意味をもつ地域...ベトナム中部農村地帯など
- ベトナムの田舎にとって ハノイも日本も同じ
- 日本に対する親近感
- 夢をかけるなら日本

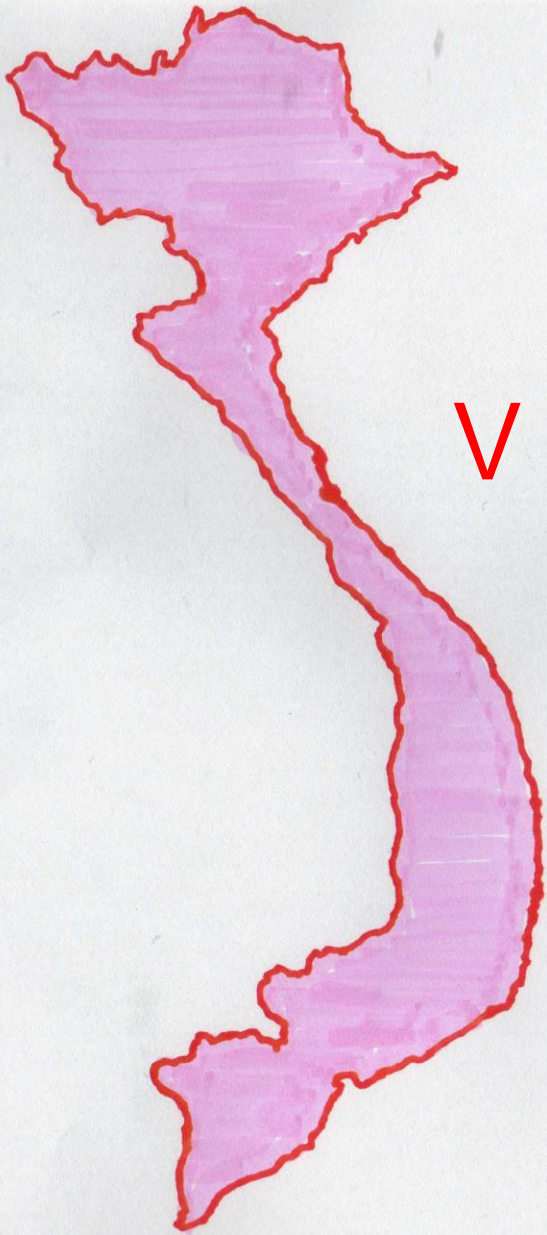


日本社会に不可欠の存在に

- 2020年8月～2021年1月の日本への新規入国
- 総数 262,378、ベトナム人 61,392人(23.4%)
- 日本社会でベトナム人が果たしている役割への日本社会の認識不足
- 安価な労働力を実習生・留学生という形で入れている日本の制度の問題
- ベトナム・日本での悪質業者の介在

在日ベトナム人との共生

- 「安価な労働力」...ベトナムに関しては、もはや通用しにくくなっている、日本で稼げるお金がなお魅力であることは事実だが、日本に夢をもってきている若者が多いことを見過ごしてはならない
- 「犯罪」のクローズアップ...ベトナム人を犯罪に追い込んでいる仕組みがあることは直視、しかし在日ベトナム人の絶対数の増大に比すれば検挙者の増大は少ないことも事実
- 日本社会をともに支える隣人としてのベトナム人



V ベトナム共産党

小国ベトナムのリーダーシップ

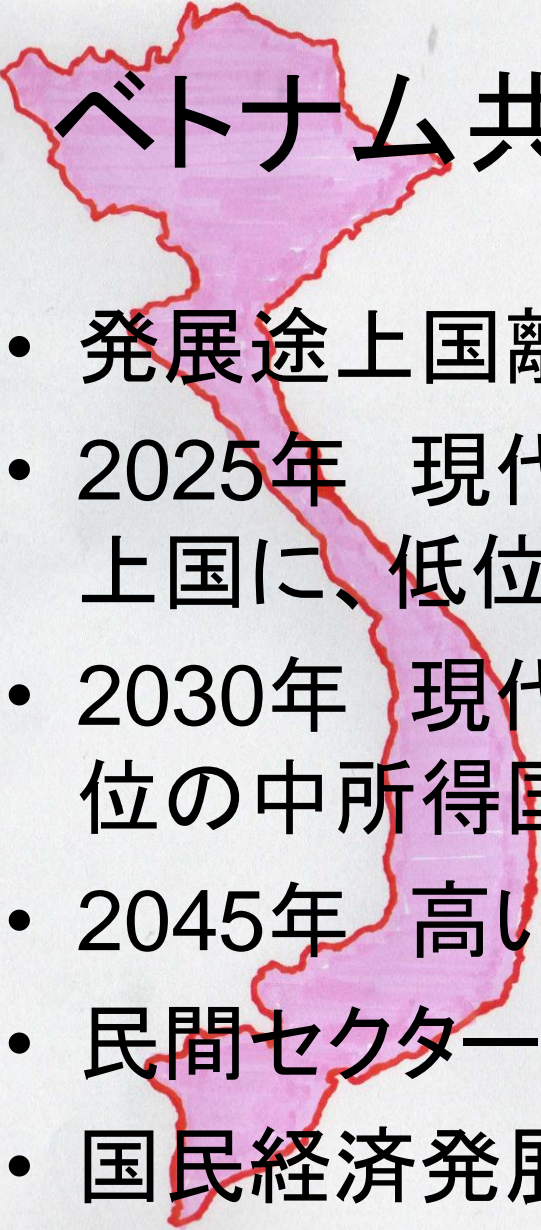
- ベトナムの政治文化 教条主義<現実主義
 - 国際政治の中の小国
 - 国際政治のなかで取りうる選択肢・・・きわめて限定
 - 集団指導
 - 共産党・大統領・首相の権力バランス
- 北部、中部、南部のバランス(今回の党大会で変化)
ストロングマンがでにくい





ベトナム人の気質と共産党

- ベトナム人氣質 柔軟、臨機応変、大雑把
- 共産党 世界的には集権的、上意下達の政治組織
- ベトナム共産党 「下からのイニシアティブ」がとおる組織
- 一旦、上級が決定しても、下々がざわめくと、決定が見直される柔軟性
「竹の国」の共産党



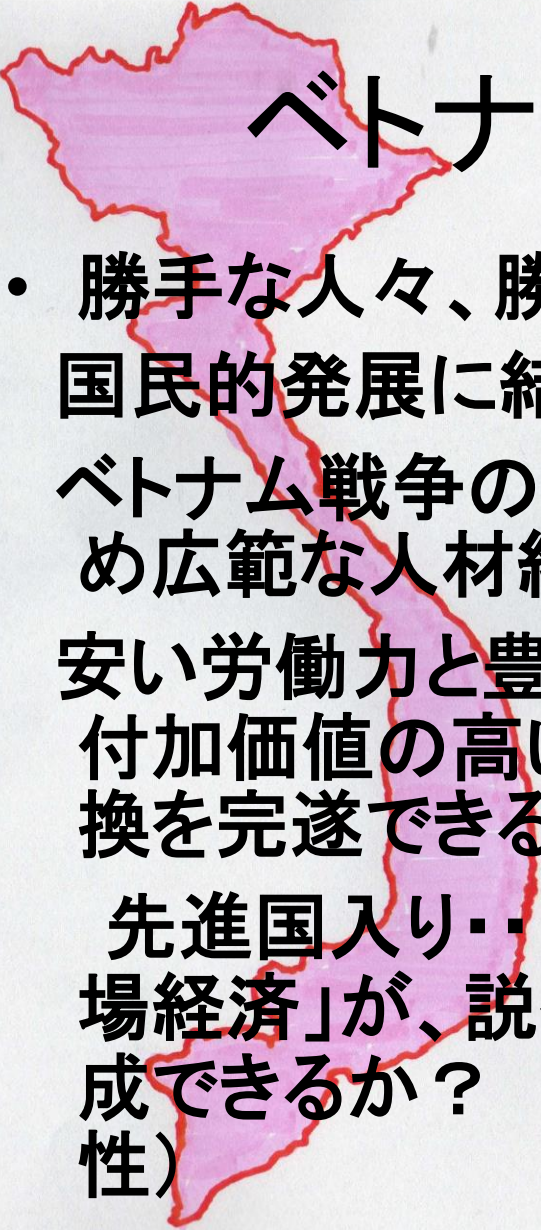
ベトナム共産党第13回党大会①

- 発展途上国離脱の目標を明示
- 2025年 現代的な志向の工業をもつ発展途上国に、低位の中所得国から脱却
- 2030年 現代的工業をもつ発展途上国、高位の中所得国
- 2045年 高い所得をもつ先進国に
- 民間セクターの役割
- 国民経済発展の原動力



ベトナム共産党第13回大会②

- トップ4
- 12回大会 北部2、中部1、南部1
- 13回大会 北部1、中部3
- 政治局員でも中部優位 5:9:4
- ただし、党と政府のバランスは強く考慮
- 書記長交代のシナリオ消える
- 特例措置 チョン書記長、フック首相の再任
- チョン書記長の国家主席兼務は解除



ベトナムの直面する問題

- 勝手な人々、勝手な地方をまとめあげて国民的発展に結実できるか？

ベトナム戦争の記憶を乗り越えて、海外在住者も含め広範な人材結集ができるか？

安い労働力と豊富な資源に依拠した経済発展から付加価値の高い産品を生み出す経済発展への転換を完遂できるか

先進国入り・・・ベトナムの掲げる「社会主義志向市場経済」が、説得力のある社会モデルを現実形成できるか？（第三世界版社会民主主義の可能性）